

平成二十七年 度

「鯨城・堀川と生活を考える会」
堀川浄化活動報告書



2015

二十七年 度代表 宇津 昇
二十八 年度代表 鵜飼 幹雄

平成 27 年度も着実に充実した浄化活動を展開しました

私たちの堀川浄化活動は会の創立 11 年になる 27 年度も着実に続けてまいりました。そして以下の活動を省みながら、地道な努力を積み重ねて浄化活動を行ってまいりました。その活動が必ず報われる時が来ると確信して実施した 1 年間の活動報告です。

・・・主要項目、その詳細説明、活動風景の写真、の順に報告します。

主要項目

1 堀川 1000 人調査隊 2010（堀川の浄化運動を展開する官民一体の団体）

木曾川の 3 年間の導水実験を調査する目的で結成された 1000 人調査隊 2010 はその後、川の水質環境調査を継続すると共に源流の人々との交流を重ねながら名古屋の大切な堀川を理解していただく運動を重ねております。



会では平成 17 年から参加して以来、実行委員会のメンバーとして中心的役割を担い、諸活動に積極参加して関係団体様より最大の協力者として信頼されています。

2 堀川の納屋橋を中心に催される催事には堀川 1000 人調査隊の代表団体（実行委員）

として平成 27 年度も延べ 100 人以上の会員が参加、その盛り上げに貢献しました。

＊5 月開催のフラワーフェスティバルでは水質体験とアンケートを実施しました。

3 堀川の環境美化…納屋橋を中心に毎月 50 名の会員が参加して清掃活動を行っていま

すが今年も 11 月には一大イベントである全鯉城学園 900 名で第 4 回「鯉城・堀川清掃大作戦」を実施しました。今回も名古屋市、及び関係団体様のご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

＊堀川の全域と新堀川を加えた 11 拠点から朝 10 時に一斉スタートして清掃活動を行いました。堀川では諸団体が夫々清掃を実施されていますが全鯉城による 4 回続けた大清掃は今後も大いに期待される様になりました。

4 8 時間（8 時～16 時）の水質変化一斉調査を実施しました。

上流から下流までの 8 地点で朝から夕暮れまでの水質を、1 時間毎に連続調査をしてその変化を調べる「会が独自に行う事業」で平成 19 年から毎年 1 回連続実施しています。潮流、気温水温、干満等環境による影響を記録しています。



5 1 年間の諸活動を市民の皆様に表示して発表しました。

フラワーフェスティバル風景

＊28 年 1 月に堀川ギャラリーで 1 年間の活動記録を中心にパネルや写真にして 3 週間に亘り展示発表会を開催し、広く市民の皆様にご高覧頂きました。

特に 8 時間連続調査の結果や平成 15 年から実施している堀川連続水質調査のデータは他に例がなく貴重な資料として内外より注目されております。

6 堀川の水質調査活動は今年も継続して実施しました。

＊名古屋市環境局が行う「水質モニタリング調査」に参加して港新橋で 4 回調査しました。同時に周辺の清掃も行い綺麗な橋と周辺に変貌しております。

＊庄内川から取水の八ヶ村農業用水の水質調査も 5 回実施しました。（流水月のみ）

＊国交省「身近な水環境の全国一斉調査」と「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」に

参加して6月と8月に7ヶ所で水質調査を実施しました。

*市開催の「名古屋気温測定調査」に会員8名が参加して一翼を担いました。

*秋に行われた「環境デー」に現役になり出展して堀川の啓発に努めました。

*堀川を見て歩く「環境文化観て歩き」を4回実施して会員多数が参加しました。

7 会員の知識向上をめざして・堀川関連の**施設見学**と有識者を呼んで**講演会**を行っています。

*見学会は5月に尾張東部浄水所、11月に鳥居松沈殿池を見学し、知識を広めました。計95名が参加して帰りには各期夫々が友好を温めました。

*講演会は7月に国土交通省木曾川河川事務所様、2月には緑政土木局河川計画課職員様の堀川に関する諸々の知識をお話し頂き、延べ110名の会員が勉強致しました。



8 昨年より会のホームページを開設しております。

この窓より市民の皆様と会員対象に発信していく予定です。

諸活動の詳細説明と活動したスナップ写真を掲載しました

(1)堀川1000人調査隊2010の定点観測を行いました。

平成17年から定点調査隊として参加し、27年度も堀川5隊(5カ所)新堀川で2隊(2カ所)を担当して12カ月84回の調査をして報告しました。

定点 北清水橋、五条橋、山王橋、瓶屋橋、白鳥橋、大井橋、熱田橋

方法 10時に各橋から一斉に表層水を汲み、CODパックテスト、透視度、臭い度周辺環境、生物、ごみの状態を目視して記録し本部に報告する作業です。

発表 調査隊は春秋の2回(ステージ)一堂に会し報告発表会が開かれています。

交歓 木曾川の源流、御岳の麓、開田村に住む人達と交歓会を実施されました。

* 会と鯉城学園環境専攻から約100人が参加して大きな役目を担っております。

(2) 納屋橋で開催される5月のフラワーフエスティバルには実行委員として企画から参加し、水質体験コーナーと来場者対象にアンケートを実施、610名の方が回答してくださいました。期間中一帯は花で埋め尽くされてそれは見事な光景です。

(3) 堀川をきれいに・美化活動(清掃活動)に一丸となって取り組みました。

*「第4回鯉城・堀川清掃大作戦」を実施しました。

名古屋市高年大学「鯉城学園」の学生会、OB団体の鯉城会、の3団体が共催して堀川と新堀川の全域を11拠点に分け11月7日、総勢800人で一斉に大清掃して



第4回「鯉城・堀川清掃大作戦」開会式

200袋(450)のごみを収集し、大きな成果を上げて事故

無く終了しました。ご支援下さった諸団体のご協力に厚くお礼申し上げます。

24年度から始めて第4回を実施でき、堀川に携わる諸団体からもその規模、運営が大きな清掃活動と高く評価頂きまして定着してまいりました。

第1回から4回まで「鯉城・堀川清掃大作戦」の冊子を発行し実施内容を詳しく記載して会員と関係諸団体の皆様にご高覧頂きご理解、ご支援を賜っております。



第1回～4回の冊子

- **11 拠点** 上流から「夫婦橋」「中土戸橋」「納屋橋みのりの広場」「納屋橋シャムズガーデン」「尾頭橋」「白鳥公園」「宮の渡し」「港新橋左岸」「右岸」新堀川「矢場、堀留水処理センター」「新開橋」の夫々周辺を清掃しました。

***毎月定期日に行っている納屋橋周辺の清掃活動を今年も 10 回実施しました。**

参加者も年々増えて延べ 409 名（平均 40 名）集めたごみは 450 袋が 117（平均 11 袋）と昨年と殆んど同じ結果でした。（清掃は 10 時～11 時 30 分）

***比較** 26 年度は参加者平均 42 人、ごみ平均 11 袋でした。

評・毎回気になることですが吸殻だけは多く散見していて 10 年前から減っていないのが残念です。



(4)「8 時間連続調査」を実施しました。（会独自の事業）

平成 19 年から始めたこの催しは堀川の水が潮の干満によってどんな変化をするかを調査するもので 9 月 8 日、COD、アンモニア、塩分濃度、pH、DO 検査（溶存酸素量は 5 地点）を毎年同じ 8 地点で調査を実施しました。

多数の会員が参加して調査法を周知のうえ朝～夕方の間 8 回に亘って連続採水し、上記のような検査を記録しました。他に例の無い誇りえる調査と自負しております。この結果は後日に報告会を開き、ギャラリーで展示発表して広く市民の皆様にもその詳細を公表いたしました。

*** 8 調査地点** 元杵樋門、志賀橋、中土戸橋、納屋橋、山王橋、瓶屋橋、大瀬子橋、港新橋

(5) 27 年度活動と 11 年間の連続水質調査のデーターをパネル写真にして展示発表しました。 28 年 1 月 13 日～31 日迄堀川ギャラリーで会が活動した今の姿を是非見ていただこうと毎日会員が交代でご来場者約 300 余の方に説明をして理解を深めていただきました。

市民の皆様や、関係団体、学園の皆さん、納屋橋ご通行の人たち、など幅広くご来場頂き熱心に見ていただきながら質問、激励など頂戴しまして対応に大わらわでしたが「堀川を清流に」の啓発運動には大いに役立ったと感じました。

(6) 毎年継続している以下の水質調査活動も予定通り積極的に行いました。

***名古屋市環境局のモニタリング調査に登録参加して堀川最下流の港新橋での水質調査と共に会員が分担して橋の下や近辺の清掃も実施しました。**

港新橋は国道 23 号線が通る橋で両側に歩道があって利用されていますが大型車がひっきりなしに通る、すぐ脇の歩道で行う水質調査は、いつもぐらぐらとゆれ、勇気のいる活動です。

- 8 年前、橋の下はごみの山であまりの酷さに見ぬ振りできず、港土木事務所の協力を得て水質調査の度に清掃し、今ではきれいになったと自負しています。

- 27 年度は水質調査と清掃を主に新会員が担当して 4 回実施しました。

***八カ村用水は庄内川左岸の竜泉寺付近から引かれた農業用灌漑水で堀川への放水を期待して水質調査を始め、現在も放水期間のみ月 1 回調査記録しております。**

***国土交通省の「身近な水環境の全国一斉調査」には 7 地点で調査協力しました。**

又、水環境水質調査（伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査）にも協力し、8月に港新橋でCOD、pH、N、P（富栄養化）、透視度などを調べました。

*名古屋気温測定調査が開催されました。毎年夏ヒートアイランドが発生する危険をはらんでおります。前回から30年振りとかで8月8日市民多数が各所で一定の基準を守り、会から8名が高藏公園南高座結御子神社西で5時～20時の間16回の測定をしました。この報告会が2月6日名工大で開かれ他市からも報告されました。この調査の発展で将来堀川の各橋上の気温変化を注目しています。

*9月16日恒例の「環境デー名古屋」の大展示会が開かれました。例年環境専攻2年が出展しましたが都合により今年に限り会が出展し、「生き物豊かな堀川に」をテーマに実際に魚を採集して集まった子供たちに喜んで頂きました。

(7、8) 会員の知識向上をめざして……講演会、見学会、堀川環境文化を観て歩き、夫々の集いを開催し多くの会員が学びました。

*講演会は2回、堀川に詳しい講師から学びました（受講者は延べ111名）。

*見学会は水に関する施設に絞って2回実施しました（参加者は延べ95名）。

*堀川の環境、文化を観て歩きました（旧、環境パトロール）堀川と沿線の歴史、文化に精通する講師を招き、ガイドをお願いして上流から中流まで4回に分け実施、延べ168名が楽しみながら参加しました。



(9) 会ではホームページを開設して市民の皆様には活動の様様や堀川のニュースを提供し、会員のページを設けて各グループから行事の周知を図っています。

URL: <http://kojohorikawa.jp>

（鯉城・堀川と生活を考える会からも入れます）

平成27年度は28期生の有志22名加入して総勢193名となり大規模な市民ボランティア団体（名古屋の河川環境の整備、浄化をめざした）として維持できました。これまで説明しました諸事業も新たな会員を加え今迄以上に充実した成果をあげる事が出来ました。添付のカタログ（当会製作）を参考にご覧ください。



27年度の反省と今後の課題

私達の堀川浄化活動は毎年それまでの事業を反省しながら少しずつ改善を加えてより参加しやすい効率のよい活動を特に考慮して企画推進しております。

*27年度は新しい会員も順調に増えて各事業は充実した効果を実践できました。

しかしながら27年度の学園環境専攻の入学者数が定員を大幅に下回った為に現役の自主活動である堀川水質調査、1000人調査隊催事の協力などに支障をきたす心配が出ております。（28年になって水質活動の一部に会の有志を派遣しております）創立以来10余年間活動の中心である現会員の高齢化と共に毎年卒業生を迎え入れて活動する「鯉城・堀川と生活を考える会」の今後の活動に大きな影響を与える問題と考えております。

最後までご高読ありがとうございました。

27年度代表 宇津 昇